



銀河

ろうか。地球が今までの周期を終えて、次の新しい周期が始まるのであれば、新年を迎えるように、心を新たに我々は今、何か行動を起こす必要があるのでないだろうか。

私たちは今、混迷の時代に入り、分裂が起こり、不確実な未来を予測しにくい時代を迎えていた。社会のあらゆるシステムが今まで通りには進まなくなり、どこかに不調和が生まれ、地球環境が汚染され自然界のバランスも

崩れつつある。人類の未来への分岐点は2030年という世界の賢者からの報告もある。パラダイムシフトという言葉もあるが何を変えればよいのだろうか。

それは、もしかして五感に限定されていた人間から、五感を超えたサトルで小さな変化を感じ、その感覚を大切にする人間に一人一人が変容する時なのではないだろうか。つまり「五感で感じるものだけがすべてではない」ことを認識する時代になってきたのではないか。その感覚は言葉や文字にして伝えることが容易ではない感覚と言える。自分にしかわからない感覚。その感覚を大切にしていくことが必要なのか。

今まで「力」とは人をコントロールし支配し、横に伸ばす勢力、自分を守る権力のことであった。それは対立、争い、破壊を生み、未来を平和で明るくする為には必要のない力である。言葉の力も、その言葉を発した側の元にその力が還ってくる。その力を受けた相手側には負の思いが生まれ、その思いが発した側に届く、そう認識すべきではないかと思うのである。それこそが、これから明らかになってくる法則の一つではないか。

新しい時代の「力」は自分の内深くに眠る、和らかでやさしく思いやり深い、心の力、神聖なる自分と肉体の人格とをつなぐ、天に高く、縦に伸ばす力のことではないだろうか。自分の神聖なる力と縦につながって生きることが必要になったといえるのである。その上で、自分の心の響きと共に鳴り合える、縁ある仲間と横に自然なかたちでつながり、その縁を大事するのである。横に力を拡大するのではなく、縦に自分の内なる高い響きとつながる力を發揮し、自分軸を立て、その上で、横に無理せず自然に広がっていくことが大事だと考えている。

その結果として、自分の周りに調和する出来事が増え、愛を体験し、自然に物事がスムーズに進むことが起きてくる。従来の「力」の社会が崩壊しつつあることに気づいている人は増えているからこそ、これからは「自分の内なる高い響き」とつながり、すべての人が良くなり、すべてを生かす科学、調和する心から生まれる社会が必要だと思うのである。サウンドヒーリング協会に関係する皆様の中にはすべての出来事の中に、未来を調和する力が働いていると感じる方もおられるだろう。今こそ、誰かがやってくれるのを待っていたのでは、だめだと考えている。自分から自分に変革を起こし、神聖なる自分とつながり、自身のハーモニックレボリューションを起こすことが、Well-Beingな人生を歩む基になると確信するのである。

自分の神聖なるエネルギーとつながる心の取り組みは、自分自身の最も愛すべきところを見つけそこに意識を向けることから始めるのがいいだろう。その取り組みは自分の心の中に新しい神経回路をつくることになる。そして、生活の中で愛に満ちた、神聖なる意識を發揮することを心掛け、練習し、それを習慣にするのである。

そして同時に自分の人生を喜び多いものにするために、自分の言葉と思考に責任を持つことである。自分の思考と言葉は常に自分自身に働きかけ、自分の人生に影響を与えている。自分の思考は心の内側の会話であり、自分の心の奥の部屋にいる潜在意識がいつも聞き、記憶に蓄積している。自分の中に浮かんでは消える思考は未来の現実を形づくる力をもっていると認識する。その力をどう生かすかで自分と周りの人の未来が変化すると認識する必要がある。



アリゾナの空

毎日発する自分の言葉や思考は、過ぎていく単なる情報ではなく、自身の心の奥庭(潜在意識)に植える強力な種と考えてみるのである。奥庭に、何を植えるかで結果が決まる。毎日未来に育つ様々な種を植えているのだ。無理かとも思うと無理になる種を植えている。全てうまくいくと言葉にすれば、うまくいくことが起こる種を植えている。植える前にどんな種を植えるかを選ぶことが大切なのだ。



地球と天の川

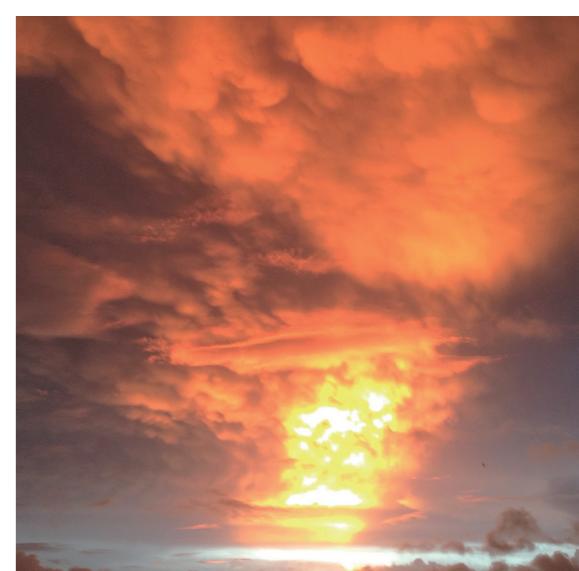
大切なことはネガティブな言葉や思考をなくすることを目的にせず、自分が植えた種を知り、その「思いのくせ」に気づき、どの種(思考)に水をやり育てるかを意識するのである。潜在意識(庭)に潜んでいるネガティブな思考を取り除こうとはしなくてよい、ネガティブな思考を取り除こうとすると、除かれまいとする強い抵抗を生むことになるのである。ポジティブなこと明るいことだけにフォーカスすることを練習することが大事なのである。明るい心は明るいことを呼び、自然にネガティブなことは消えていく。感謝の心と感謝の言葉が感謝の出来事を起こすのである。

同じように社会や自分に起きる否定的な事柄に心を向け過ぎない、そこに集中しない。病気や困難なことに意識を集中すればするほど、心の中のその力は強くなるばかりで無くならず、病気を起こす要因にもなってくる。自分を変革することは、新しい楽器の演奏を練習し、上手になるのと同じである。一夜にしてできるものではない。花をむりやり咲かせることはできないように、種を植え、水をやり、成長を見て待つことが大事なのである。庭全体に美しい花を植え育てるようなつもりで取り組むのである。

毎日、意識的に自分の「思い」と向き合い、自分の感情に注意を向け(消えていく感情、不安の思いなど) それに逆らわず受け入れるだけでよい。焦らずに、困難を自分の可能性を信じるチャンスにする。困難な時代だからこそ、ゆっくりした呼吸の中で心地よい言葉、明るい言葉を発し自分の居場所を明るくし、縁ある仲間と力を合わせて、社会を安心できる心地よい場に変容していきましょう。

私たちは「天の川」という宇宙の川の流れに乗って動いている。その流れの潮流を見極める心の目を一緒に養っていきましょう。宇宙を知るとは常識にとらわれないこと。

参考 地政学でわかる私たちの世界、Sande Hart, Gary Zukav, Louise Hay, JST



Morning Tokyo

ハワイの星空 + 立体的自然音 後援 ハワイ州観光局

Star Light Healing Malama Hawaii

スター ライト ヒーリング マラマ ハワイ

やすらぎと活力をお届けする番組

監修: サウンドヒーリング協会 制作: さいたま市宇宙劇場&株式会社ファンデーション

さいたま市宇宙劇場
毎月1回開催中



仙台市天文台
(7月・8月)

